

学校安全の日に命の大切さを学びました

本日、5月16日は開校記念日でした。当校では、昨年から5月16日を「学校安全の日」に設定し、安全について深く考える日にしています。

今年は、公益社団法人島根被害者サポートセンターの「命の大切さを学ぶ教室」を開催し、交通事故被害者ご遺族の江角由利子様を講師にお迎えし、「亡くなった娘からの生命のメッセージ」という演題でご講演をいただきました。ご講演では、20歳の真理子様を飲酒運転の犯罪によって亡くされた悲しいご体験をもとに、命の大切さについて丁寧にお話をいただきました。「犯罪によって真理子様の生命だけでなく、次に生まれてつながっていくはずだった生命も失われた」、「何かをするために大切なことはまずは生きていること」等のお話をいただき、会場の全員が静かに真剣に拝聴していました。ご講演の後、真理子様のご遺品等を全員で見させていただきました。命について、真剣に考える一日となりました。

今日のご講演で感じたことを忘れることなく、すべての命を大切に、小さなルールも守って生活して欲しいです。江角様、島根被害者サポートセンターの皆様、本日は誠にありがとうございました。

学校安全の日に関連して、清掃時間には、文部科学省のHPでも紹介していただいた生徒による学校安全点検を実施しました。



Instagram と Facebook にも掲載します



@GOTSU_TECHNICAL